

連合獣医学研究科自己点検評価書

項 目	取組内容（成果、課題など）	根拠資料	
基準4 学生の受入 4－1 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）が明確に定められ、それに沿って、適切な学生の受入が実施されていること。 4－2 実入学者数が入学定員と比較して適正な数となっていること。	入学者選抜の改善に繋がった取組 ○Native English speaker による英語入試問題の確認と設問内容の一般性に関する作業を実施し、問題の適正化を図った。 入学者数を改善するための取組 ○研究科の入学者数は11名で、入学定員（6名）の1.83倍と多めであったが、岐阜大学配置の最終受入れ学生のため、やむを得ないと考えている。	平成30年度入学者在学者状況（資料1）	連合獣医学研究科の取り組みを示すポunci絵（公表用1枚）
基準5 教育内容及び方法 5－2 教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。（学士課程） 5－5 教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等（研究・論文指導を含む。）が整備されていること。（大学院課程）	単位の実質化を図るための取組 ○学際領域特別講義は、専門分野講義3コマ、連携機関の教員による専門外分野講義1コマ、研究倫理及び実験室のバイオリスク管理に関する一般基礎分野講義2コマで構成することで、広角的な視野の習熟に繋がった。 ○科学英語は、プレゼンテーション能力の向上を主眼に置き、プレゼンテーションの準備による授業時間外の学習時間の確保を図った。	学際領域特別講義プログラム（資料2） 科学英語シラバス（資料3）	
基準6 学習成果 6－1 教育の目的や養成しようとする人材像に照らして、学生が身に付けるべき知識・技能・態度等について、学習成果が上がっていること。 6－2 卒業（修了）後の進路状況等から判断して、学習成果が上がっていること。	学習成果の向上に繋がった取組 ○学際領域、科学英語及び実践実習について授業後のアンケートにより、受講生の大部分が理解できていることが認められた。特に科学英語は、ジョイントシンポジウム及び国際学会等での発表者が計19名と、学生のグローバル意識向上につながり、また国際学会等で2名が優秀賞を授与され、学習成果が認められている。 ○修了生31名中12名が研究職、9名が大学教員に就き、研究科の目的である教育者及び研究者の育成を達成している。	科学英語授業アンケート結果、実践実習授業アンケート結果（資料4） 修了者就職先一覧（ポunci絵）	
基準8 教育の内部質保証システム 8－1 【重点評価項目】教育の状況について点検・評価し、その結果に基づいて教育の質の改善・向上を図るための体制が整備され、機能していること。 8－2 教員、教育支援者及び教育補助者に対する研修等、教育の質の改善・向上を図るための取組が適切に行われ、機能していること。	教育の質の改善に繋がる取組 ○研究不正が社会的に問題となり、新入生に対する研究倫理教育を特別講義（受け入れカリキュラム）で実施するとともに、CITI Japan の e-learning を全学生に義務付け続けている。 ○大学院生の教育・研究の指導面での課題を的確に把握するため、過年度生を指導する教員へ今後の計画の聞き取りを実施した。	講義概要（資料5）	

平成30年度 連合獣医学研究科の教育改善 (基準4、5、6、8)

基準4 学生の受入

- 大学院の外国語入学試験問題の改善
- 入学者数の適正化

- 獣医学を通じて社会貢献に意欲を有する人
- 獣医学やそれに関連した諸科学に関して研究心を有する人
- 獣医学やそれに関連した分野で技術の向上に意欲のある人
- 獣医学を基盤に、国際貢献に意欲のある人
- 獣医学に関連した諸学問に興味があり、自らの専門性を探求したい人

【平成30年度修了生就職先】

就職先	職種等
帯広畜産大学	日本学術振興会 特別研究員
大塚製薬株式会社	研究員
アビ株式会社	研究員
Kabul University	Lecturer
Can Tho University	Lecturer
寺本動物病院	副院長
国立長寿医療研究センター	ポスドク
北海道NOSAI	獣医師
科研製薬株式会社	研究員
旭川医科大学	助教
Chittagong Veterinary and Animal Sciences Univer	Associate Professor
岐阜大学	特別協力研究員
第一三共株式会社	研究職
塩野義製薬株式会社	研究職
Rajshahi University	Lecturer
岐阜大学	研究員
Tra Vinh University	Lecturer
Bangladesh Livestock Research Institute	Senior Scientific Officer
千葉県衛生研究所	研究員
シラナガ動物病院	院長
北海道農業共済組合連合会研修所	所長
東京農工大学	特任助教
白石動物病院	勤務医
Patuakhali Science and Technology University	Associate Professor

基準5 教育内容および方法

- 研究科提供講義の広角化
- 多様な講義および演習手法を導入

学際領域特別講義 (岐阜大学発信) (各大学)



実践実習



代議委員会

(各大学2名、計9名で構成)

基準6 学習成果

- アンケートに基づく内容の改善と学習成果を確保
- 大学院修了後の就職状況

基準8 教育の内部質保証システム

- 研究不正のための研究倫理教育
- 大学院生の教育・研究の指導面で実態把握

岐阜大学連合大学院

研究科委員会

研究科の管理運営を担当

過年度生

- ・ 社会人学生が主体
- ・ 年度初め13名
- 6名修了
- 3名退学
- 新たに7名

到達目標

- ・ 知識と技術力
- ・ 研究能力と研究倫理観
- ・ 表現力とコミュニケーション力
- ・ 国際貢献
- ・ 社会貢献力と倫理観